

新型ウイルスの「3つの感染」と 岩舟「我が丸事業」の役割

茨城県生涯学習・社会教育研究会会長

長谷川幸介

1. 新型コロナウイルスの感染を前に、私たちは戸惑っている

- ① 自分たちの活動は「3密」活動だし、クラスターづくりかもしれない
- ② 人間は、地域で生き抜くために「つながってきた」のではないか？
- ③ 地域づくりや「支えあい活動」はどう進めたらいいのだろうか？

2. 私たち人間は、今、地球を管理できる生き物になってきたか？

- ① 地球はコロナの惑星だった（45億年前）⇒地球の主人公は人間じゃない
- ② コロナウィルスの環境を破壊したのは農業革命（1,2万年前）
- ③ これからも、新しいウィルスは出現し続ける

3 私たちは、身体防衛軍を作り出した（免疫機能）

- ① 身体の免疫（食細胞・キラーT細胞・B細胞）
- ② 地球で生き抜くためのもう一つの免疫機能（＝心の免疫）：「つながれ！」の声
- ③ 新型コロナウイルスの戦いは、2つの免疫が必要

4 現場からの報告は、3つの戦いを教えている

- ① 「3つの感染」⇒ ①身体の感染 ②心の感染 ③社会の感染
- ② 我が丸事業は、①を配慮し、②の局面で活動し、③の戦いを支える
- ③ ①②③の戦いは、連携しなければ孤立する（社協だけでは戦えない）

5 社会福祉協議会は、市民の幸せを産み出す組織だ！

- ① 身体の健康と心の健康、そして社会の健康が、幸せの源
- ② 身体的距離と心の距離（岩舟「我が丸事業」の方針）
- ③ つながっていることを「共感・共有する」のは地域から

6 戦いは簡単には収束しない

- ① 日々の「新しい暮らし方」（幸せのカタチ）を作り始め、次世代に渡す
- ② 私たちがどう苦闘したかを残し、手渡す
- ③ 岩舟「我が丸事業」は、初めての地域福祉課題解決に取り組み始めている
- ④ だから、戸惑うのだ。しかし、幸せづくりの戦いは長期戦だ！